

研究協力のお願ひ

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学江東豊洲病院における栄養療法の現状調査および NST 対象患者選定方法の検証

1. 研究の対象および研究対象期間

2016 年 4 月～2017 年 12 月までに入院された方

2. 研究目的・方法

入院患者のうち、低栄養患者の割合は 33%であり、退院時に血清アルブミンが低下した患者の割合は 43%と、入院患者の約半数は何らかの栄養障害に陥っていると言われていています。一方で、昭和大学江東豊洲病院（以下、当院）における患者様の栄養状態および施行された栄養療法の適正性は、まだ調査されていません。また、当院 NST（nutrition support team）では、医師や看護師からの NST 介入依頼の他に、血清アルブミン値 2.9 g/dL 以下の患者の中から NST リンクナースが NST 対象患者を選定することで介入症例を決定していますが、正しく低栄養の患者様を選んでいるのかなどは詳しく調査されていません。

そこで、当院に入院した患者様の栄養状態、および入院後に施行された栄養療法の調査を行います。また、NST 介入症例の栄養状態を調査し、正しく患者様を選んでいるのかの評価を行います。

調査対象は 2016 年 4 月～2017 年 12 月まで入院した患者様とし、体重、BMI、血清アルブミンなどを元に、一般的な栄養評価基準を使用して栄養状態の評価を行います。当院における栄養療法の現状調査は、静脈栄養、経腸栄養および食事のカロリーやタンパク質量などを調査し、目標栄養量との充足率等を算出し検証します。また、上記の方法で NST 対象患者の栄養状態を評価し、選定方法の評価を行います。

研究期間

2018 年 1 月 25 日～2019 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（性別、年齢、診断名、入院日、転入日、転棟日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰、入院時入院形態）、使用された栄養療法の内容（点滴、栄養剤および食事の種類、量、時間）、患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬）、生化学検査（血清アルブミン、コレステロール値など）、バイタル検査（血圧、体温、脈拍数）、カルテ番号

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学薬学部 病院薬剤学講座 職名：講師

昭和大学江東豊洲病院 薬局 職名：薬局長

氏名：田中 克巳

住所：135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

電話番号：03-6024-6000

研究責任者：

所属：昭和大学薬学部 病院薬剤学講座 職名：教授

氏名：佐々木 忠徳